

南予地域柑橘農業復興対策チーム 第18回会議 資料

(1) 園地復旧について

- ア 原形、改良復旧の取組及び営農再開状況 … 1
- イ 再編復旧の推進 …………… 2

(2) 営農支援策について

- ア 復旧園地における穴掘り機の活用 …………… 6
- イ 早期成園化に向けた取組み …………… 8
- ウ 労働者確保対策 …………… 9

(3) 温州みかんの生産販売状況について …………… 10

(4) その他 …………… 11

1 園地復旧

(1) 原形、改良復旧の取組及び営農再開状況

1月末進捗状況 完成率 約8割 110箇所／142箇所 (7.0ha／10.7ha)

(完成箇所数110箇所には、部分完成8箇所を含む。)

■ 3月末進捗見込み 完成率 約9割 132箇所／142箇所 (10.0ha／10.7ha)

関係農家戸数 営農再開戸数 224戸／被災農家数241戸=93%

・ 4年度 営農再開戸数 83戸 (44箇所)

被災園地面積 営農再開可能面積 10.0ha／10.7ha=93%

・ 4年度 営農再開園地面積 4.4ha

(※営農再開農家戸数は、申請箇所当たりかつ今春は土づくりのみの農家を含む)

■ 未完成園地 10箇所、0.7ha、関係農家17戸

<対応状況>

- ・ 関係農家と協議のうえ、地形条件や営農状況を考慮しつつ、効率的な施工が可能な工法への設計変更済(カゴ枠から木柵など)
- ・ 関係する道路・河川などのインフラ災害復旧も事業完了するとともに、新たに発生した9月の台風14号災害復旧工事との工程調整も完了しており、令和5年の収穫時期までには復旧完了予定。
- ・ 被災農家への品種や注文希望の聞き取り調査は完了しており、2年生苗も確保可能。
- ・ 植栽場所の地盤が固い箇所などは、穴掘り機の導入完了。
- ・ これまでに復旧完了した園地も含めて、肥培管理などの営農支援体制を継続強化。

<復旧完了原形復旧>



再編復旧「玉津地区」

概要

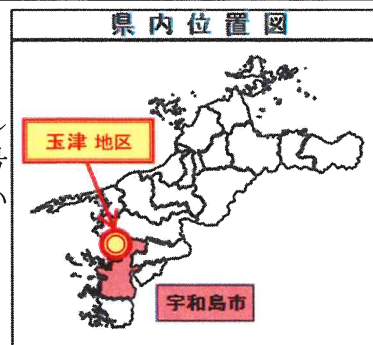
【地区概要】

園地の緩傾斜化と排水機能を備えた農道や園内作業道を整備し担い手に農地を集積するほか、主力品種の温州みかん（南柑20号）に加え、有望品種の紅プリンセスを新たに導入することで、担い所得向上や周年供給体制の強化を図り産地の底上げに繋げる。

【事業概要】

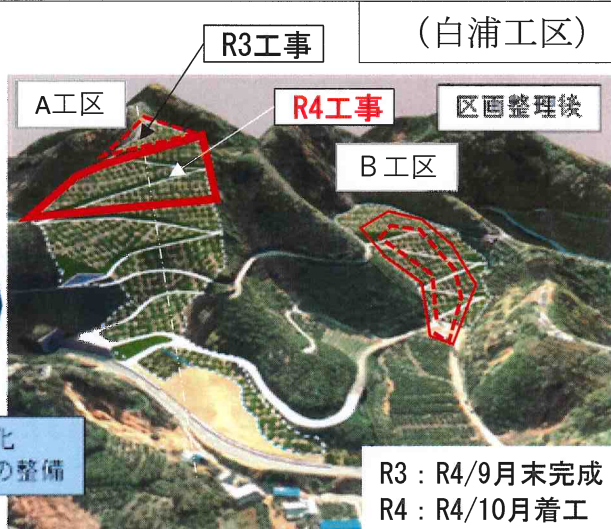
- ・事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業
- ・事業費 491 百万円
- ・受益面積 6.8 ha（白浦工区：2.4 ha、法花津工区：4.4 ha）
- ・工期 令和2年度～令和7年度（予定）
- ・主要工事 区画整理 6.8 ha

（参考）事業実施スケジュール



工区名	R2	R3	R4	R5	R6	R7	営農再
シロウラ 白浦	測量設計	区画整理工事				換地処分	R6年春 (白浦最上部から)
ホケツ 法花津	測量設計	区画整理工事				換地処分	
					植栽開始	植栽開始	

整備構想図



整備構想図

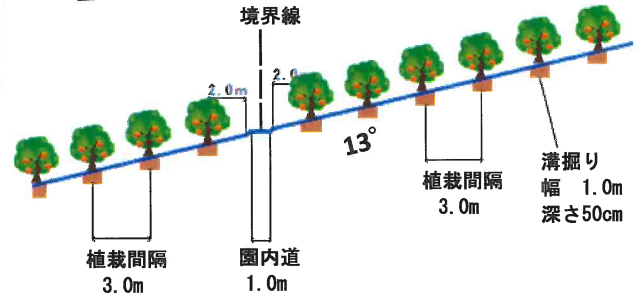
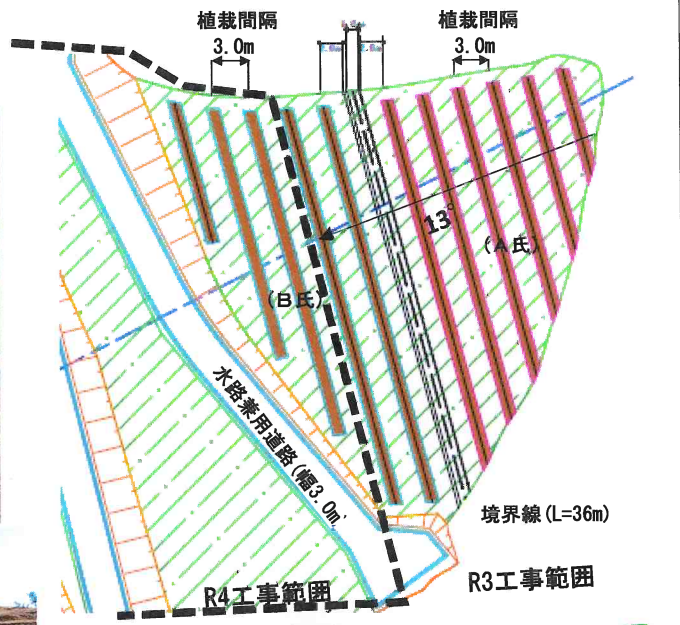


実施状況

(白浦工区) A工区(R3工事完成 最上部)

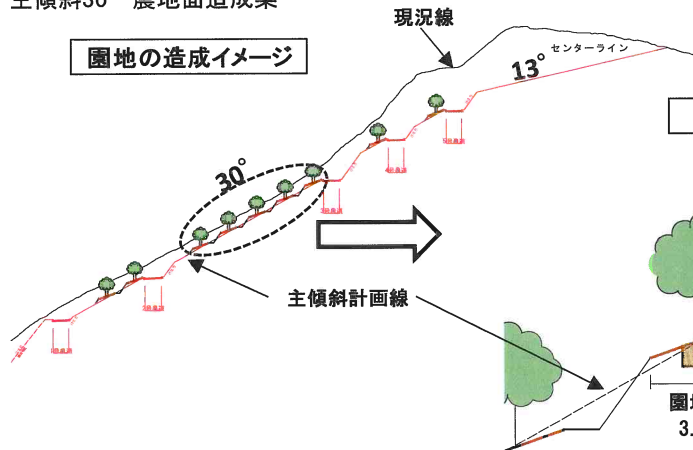


(溝掘り状況)

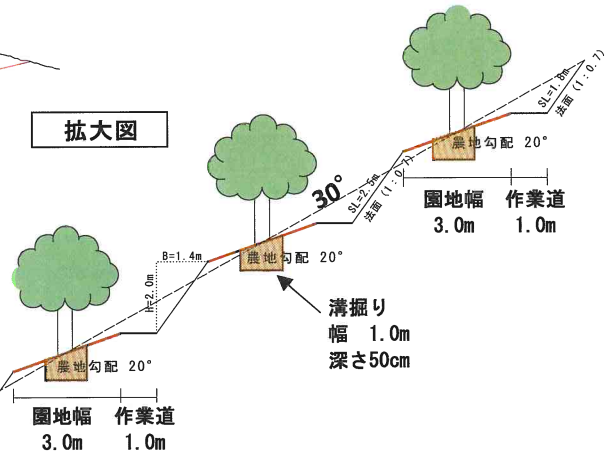


(白浦工区) A工区(R4工事中 30° 傾斜部)
主傾斜30° 農地面造成案

園地の造成イメージ



拡大図



○概要

-主傾斜30° 農地面の勾配20° 農地幅3.0m 作業道1.0m 法高2.0m 法面勾配 1:0.7

(白浦工区) (R4工事中)

